

保健体育科 2年

## 器械運動「マット運動」～自分の動作を動画から振り返ろう～

担当 木梨 祐司

### 【活動の目標】

各種の技のポイントを押さえることで、技の正しい動作を理解して練習することができる。

### 【 問 い 】

- ・各種の技を正しい動作で実践するために大切なことはどんなことだろう。
- ・自分の技の出来ばえを振り返り、修正するポイントを押さえよう。

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
<p>B2 調査活動</p> <p>最初に教師や生徒による示範から取り組む技のポイントを押さえる。その上で Chromebook を用いて、自身の技の出来ばえを動画で撮影した。技のポイントを全体で共有していたため、動画を見取る視点(技のポイント)を共通理解できた。</p>	<p>グループで練習する中で、お互いの技の良いところや修正すべき点を教え合い活動を通じて取り組む。グループ内でのアドバイスを伝え合うことが重要。</p>
<p>C1 発表・話し合い</p> <p>動画をグループで見取りながら、技の修正ポイントを話し合う活動を取り入れた。また、自分と自分、自分と他者の比較によって振り返りのポイントに気がつくことができた。</p>	<p>グループで技のポイントを教え合いや見せあいを重ねる。また、ワークシートなどで技の出来ばえを相互でチェックする。</p>

### 【資料】 動作の撮影(右：動画切り抜き)

グループでの振り返り



### 【ICT 機器を活用する良さ】

- 動画をその場で振り返ることによって、自分の技の出来ばえを即座に確認できる。
- 実際に自分の動きを確認することで意識できていなかった動作のポイントを認識できる。
- 動画で振り返りを進めることで、見るべきポイントを共有して話し合いを活性化できる。

### 【改善すべき点と原因および改善案】

- ・今回は見学生徒に撮影をしてもらったが、継続的に取りまわせることが無ければ一貫性のある活動とは言えない。
- ⇒ワークシートも配布しており、グループでの練習もしていることから煩雑になりがちと感じた。
- ⇒動画撮影→振り返りの手順や分担を様式化することでスムーズに活用できると考えられる。
- ⇒CBは撮影時にかさばり、手軽に撮影はしづらい。また、撮影に抵抗のある生徒もいるため、撮影の配慮についても考えていかなければならない。